

中学校卒業時に英語によるプレゼンテーションができる生徒の育成

戸田市の新しい英語教育（小学校編）

「自分の考えや気持ちなどを伝え合う力」をより豊かにするためのモジュール授業のポイント

① 45分間授業とモジュール授業がつながる単元構成をする。

15分間モジュール授業×3回

- コミュニケーション活動を深めるための活動
 - ・ 語彙に慣れ親しむ
 - ・ コミュニケーションに慣れ親しむ
 - ・ 聞くこと、話すことで十分慣れ親しんだ語彙・表現を読んだり、書き写したりする



45分間授業

- コミュニケーション活動
 - ・ ふれる：担任とALTのロールプレイ、ウォーミングアップアクティビティ
 - ・ 慣れる：擬似的なコミュニケーション活動
ペア・グループワーク
 - ・ 親しむ：場面設定をもとに、自分の気持ちや考えを伝えるリアルなコミュニケーション活動

② 英語によるコミュニケーションになじむ時間としてモジュール授業の構成をパターン化し繰り返す。

15分間をパターン化した授業展開例

導入 (2分)	コミュニケーションになじむ (7分)	文字にふれてなじむ (4分)	まとめ (2分)
あいさつ 歌 チャンツ Small talk Jingle	活動例1：単語に慣れ親しむ ・ ハイフレンズプラスの辞書機能 ・ ミッシングゲーム ・ スリーヒント単語あてゲーム ・ キーワードゲーム ・ カルタ 活動例2：会話に慣れ親しむ ・ インタビューゲーム ・ ステレオゲーム ・ ICT教材の活用（ストーリー） ・ ビンゴゲーム	活動例：発音と綴りの関係に気付く ・ ハイフレンズプラスの活用 （ジングル、文字のゲーム、ワークシート） ・ ICT教材の活用 （アルファベット、フォニックス） ・ 絵本の読み聞かせ	振り返り あいさつ

戸田市の新しい英語教育（中学校編）

コミュニケーション能力が身に付けられる授業改善のポイント

- All Englishで授業を進め、4技能をバランスよく育成する。
- 授業設計する際、Can-Doリスト形式による学習到達目標を活用する。
- 具体的な課題を設定し、コミュニケーションする目的をはっきりさせる。

課題例：クラスで一番人気のある職業を調べよう・夏休みの思い出を伝え合い、来年の夏休みの計画を立てよう等

- 発話量を増やし、自分の考えや気持ちを伝え合う対人コミュニケーション活動を多く取り入れる。
 - ・ 帯活動を活用する。
 - ・ コミュニケーションする際の大切なポイントを指導する。

指導例：挨拶をしてから始める・アイコンタクトをする・クリアボイスで話す・相手の話に反応する・プリントを見ながら会話をしない等

・ 活動に入る前にルールを確認する。

ルール例：男女で話す・5人と話す・日本語使用禁止・5分以内等

・ 会話を継続させるための指導をする。

指導例：相づちをうつ・相手の発言を繰り返す・相手に聞き返す・質問する等

- 一人一人が活躍できる場面を設定する。 場面例：スピーチ・発表等
- ICTを効果的に活用し、生徒の理解を促す。
- 活動をした後の振り返りの時間を設定する。

設定例：自己評価シートに記入する・グループで他者評価を行い、自己評価の判断の目安とする・生徒同士の変容を認め合う相互評価をする等

